

# I

## 学部教育の理念と目標

---

- 学部教育の理念と目標
- 教育上のポリシー等

# 学部教育の理念と目標

商学部第二部主事 ● 村 上 剛 人

商学部は激変する社会・経済の変化に対応する理論やその実践を学生に提供し、何が問題でどう解決していけば良いのか新たな知識とスキルを身につけた人材を送り出すことを目指しています。商学部第二部は基本的に商学部の目標を目指しながらも、さらに、社会人に対してリカレント教育を、そしてシニア世代には生涯教育の場を提供し、あらゆる人材層で地域社会をリードする人材育成を目指しています。その点で同じ科目を学びながら、多様な学生が学び・交流することによって、多面的な視点から問題を考察できる知識とスキルを持った学生を輩出していきたいと取り組んでいます。

◎商学部第二部ではどのような教育を行おうとしているのか

商学部第二部はある社会現象を多面的に考察できるように、広範な領域の商学の科目群を提供しています。何が問題なのか、それを見抜く知識を身につけるとともに、論理力、プレゼン力、コミュニケーション力といった社会で協働して新たなことに挑戦していくスキルも同時に習得することで、社会をリードしていく人材を育成したいと取り組んでいます。先にも述べましたが、多様な学生が学べる場が商学部第二部にはあります。社会人やシニア、そして一般学生との共創的な活動が展開されることによって、自分では気づけなかった新たな自分を見つけ、よりチャレンジングに活動していくことで、多くの卒業生と同様、地元九州・福岡の経済と社会を支える人材として成長されることを願っています。

◎商学部第二部の教育にはどのような特徴があるのか

## ①幅広い分野の科目が履修できる

商学部第二部は広範な商学の科目群を提供しています。多様な学生が自分の関心領域から学べるように、学べる入り口をたくさん用意しています。まずはあなたが将来何を目指したいのか、そして何に興味があるのか、そこから学習をスタートさせてください。

## ②昼間部の科目も履修できる

商学部第二部は基本的には月曜日～金曜日で1日2科目の履修という制約を緩和するため、卒業に必要な単位数のうち、40単位まで自分が学びたい科目が履修できるように昼間部で履修できるようにしています。計画的に履修を進めてください。

## ③学生のダイバーシティ（多様性）

商学部第二部の醍醐味は本来多様な学生が学び合うという点にあります。それゆえ、そうした学生達が互いに交流し学び合うことによって新しい知見を身につけることもできてきます。互いに声掛け合いながら様々な視点から自分を見つける場を作っていくてください。

## ④少人数で学修するゼミナール

就活環境の変化に対応して一般の学生が中期や長期の企業のインターシップに対応できるようなスキルを身につける場、また社会人にとってもグループワークを通して、専門的な知識の習得だけでなく、チーム活動のスキルを磨く場を1年次から提供し、4年間にわたって学習できる環境を整えています。少数の仲間と、特定のテーマについて議論し合う醍醐味を是非味わい、社会で使えるスキルを磨きましょう。

## ⑤特定分野の学修を強化するプログラムの設置

商学部及び商学部第二部には、将来社会に貢献するための資格取得や技能習得を支援するため、「会計専門職プログラム」「クリエイティブマネジメントプログラム」「高校商業・情報科教員育成プログラム」が設置されています。さらには、商学部第二部独自のプログラム「地域ビジネスデザインプログラム」も設置されています。いずれも魅力的なプログラムです。自分の目的に合わせて、積極的に参加しましょう。

商学部第二部は、原則として授業時間数が一日2コマと少ないので、4年間で卒業するためには、それなりの勉学上の努力と覚悟が必要です。しっかりと目標や学修計画を立て、将来必要とする知識や能力を身につけましょう。福岡大学が提供する様々なサービス(図書館、情報関連施設、キャリアセンターなど)も積極的に活用して、有意義な学生生活を送ってください。

# 教育上のポリシー等

## 学位（教育）プログラムとは

学位を授与するために編成された教育課程のことを指します。

## ディプロマ・ポリシー（DP）「学位授与の方針」とは

各大学、学部・学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるものをディプロマ・ポリシー（学位授与方針）といいます。

## カリキュラム・ポリシー（CP）「教育課程編成・実施の方針」とは

ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針をカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）といいます。

## カリキュラム・マップとは

カリキュラム・マップとは、授業科目と教育目標の関係を示した表であり、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）に基づき、各科目が卒業するまでに身につける能力のどの項目と関連するのかを示します。

## カリキュラム・ツリーとは

卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の対応関係や履修・学修における道筋を示したものをカリキュラム・ツリーといいます。

学位（教育）プログラムにおけるディプロマ・ポリシー（DP）、カリキュラム・ポリシー（CP）、カリキュラムツリーを次ページより掲載します。なおFUポータルにはカリキュラムマップも掲載しています。合わせて確認してください。

### 【掲載場所】

FUポータル▶授業関連▶履修系統図（カリキュラムツリーおよびカリキュラム・マップ）  
▶履修系統図（令和6年度入学生）▶商学科（商学（第二部））

## 〔商学部第二部〕

### ◎ディプロマ・ポリシー (DP)

商学部および商学部第二部の教育課程においては、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、次の知識、能力および資質を備えた学生に卒業を認定し、学士の学位を授与します。

1. 商学に関する専門知識を身に付けている。
2. 修得した知識およびコミュニケーション能力を活用して問題発見・解決に当たることができる。
3. 他者と協働して企業、地域等の発展に貢献することができる。

#### 【共通教育】

共通教育の DP に関しては別に定める。

共通教育に関する DP をもって学位（教育）プログラム DP を構成する。

### ◎カリキュラム・ポリシー (CP)

商学部および商学部第二部では、ディプロマ・ポリシーで掲げた知識、能力および資質を養うことができるように、講義科目および演習科目を体系的かつ段階的に編成します。

1 年次には、各学科の基礎知識を学ぶために入門科目を設置します。また、大学における学び方を身につけるために少人数クラスの基礎ゼミナールを配置し、各人に適した指導を行います。さらに、実学である商学に必要な多種多様な知識、見識を修得するために、経済学、法学等の関連教育科目を1年次から配置します。

2 年次以降は学生が専門領域ごとに体系的に学びを深められるように、年次進行に従って段階的に高度化する専門教育科目および関連教育科目を配置します。併せて、修得した知識およびコミュニケーション能力を活用して主体的かつ協働して問題発見・解決に当たる力を高めるために少人数クラスによる専門演習科目を配置します。3 年次および4 年次には、この専門演習科目を中心として専門教育科目および関連教育科目の履修計画を立てます。

#### 【共通教育】

共通教育の CP に関しては別に定める。

共通教育に関する CP をもって学位（教育）プログラム CP を構成する。

## 〔商学部第二部商学科〕

### ◎ディプロマ・ポリシー（DP）

#### 【知識・理解】

- A-1 流通、金融、経営、会計をはじめとする商学の基本的な知識を身につけている。
- A-2 商学の知識を用いて企業および地域が置かれている社会経済的状况（内外の環境と条件）を理解できる。
- A-3 商学の知識を用いて企業および地域が解決すべき経済的・社会的課題を説明することができる。

#### 【技能】

- B-1 商学の知識・理解を用いて企業および地域社会における課題を自ら発見できる。
- B-2 商学の知識・理解を用いて企業および地域社会における課題の解決策を自ら考え提案することができる。
- B-3 協働して企業および地域における課題解決に当たるためのコミュニケーション能力を活用することができる。
- B-4 企業および地域社会において求められている情報処理能力を身につけている。

#### 【態度・志向性】

- C-1 企業および地域社会の発展に積極的に取り組み、貢献する姿勢を持っている。
- C-2 常に知識を更新しようとする主体的な学修の姿勢を持っている。
- C-3 企業および地域社会において、協働して問題解決に当たる姿勢を持っている。

#### 【共通教育】

共通教育のDPに関しては別に定める。

共通教育に関するDPをもって学位（教育）プログラムDPを構成する。

### ◎カリキュラム・ポリシー（CP）

本プログラムでは、ディプロマ・ポリシーで掲げた「知識・理解」「技能」「態度・志向性」を修得することができるように、講義および演習を体系的かつ段階的に編成します。

1年次には、商学に関する理論的・歴史的・実践的な知識を学ぶ基礎的専門教育科目として、「情報」「商業（流通・金融・保険・交通・歴史）」「経営」「会計」の領域の入門科目を配置します。また、少人数クラスで、コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を高める基礎ゼミナールを配置します。さらに、実学である商学に必要な多種多様な知識、見識を修得するために、法学、経済学等の関連教育科目を1年次から配置します。

2年次以降は、「情報」「商業（流通・金融・保険・交通・歴史）」「経営」「会計」「国際」の領域に関して、学生が専門領域ごとに体系的に学びを深められるように、年次進行に従って段階的に高度化する専門教育科目および関連教育科目を配置します。併せて、企業および地域社会に貢献できるの能力と態度を養成するために、2年次から、少人数クラスによる商学、経営学および会計学に関する少人数クラスによる専門演習科目を配置します。この専門演習科目は、一般講義とは異なりディスカッションを中心に授業が進められることから、各受講者に応じたアドバイスを担当教員から受けることができ、より深く専門領域を学修することができます。また、この専門演習科目を中心に履修計画を組み立てることによって、より体系的な学修も可能となります。

#### 【共通教育】

共通教育のCPに関しては別に定める。

共通教育に関するCPをもって学位（教育）プログラムCPを構成する。

◎学位（教育）プログラム【商学（第二部）】カリキュラムツリー（令和6年度以降入学生適用）

		1年次に修得すべき科目	2年次に修得すべき科目	3年次に修得すべき科目	4年次に修得すべき科目
少人数クラス	演習	基礎ゼミナール 商学部教員が担当	▲商学ゼミナールA・B、▲経営ゼミナールA・B、 ▲会計ゼミナールA・B、▲金融ゼミナールA・B、 ▲国際ゼミナールA・B 商学部教員が担当		▲論文ゼミナール
講義形式 商学部教員による	情報	情報表現技術 情報倫理	情報処理入門 情報処理基礎	マルチメディア概論 情報システム論	情報産業論 情報社会論
	商学 (流通・金融・保険・交通・歴史)	△流通・マーケティング入門  △金融入門	マーケティングリサーチ マーケティング戦略論 消費者行動論 交通システム概論 交通経済論 金融論 保険論 商業史概論	広告コミュニケーション 地域商業論 サービスマネジメント  海運と航空 金融システム論 生活保障論 近代日本商業史	証券市場論 リスクマネジメント論 近代西洋商業史
	経営学	△経営入門  経営学総論	経営学総論 経営管理論 中小企業論 ヒューマン・リソース・マネジメント 経営史	経営組織論 経営心理学  経営財務論	経営戦略論 国際経営論 生産管理論 オペレーションズ・リサーチ
	会計学	△簿記原理 原価計算論	会社簿記 会計学総論	財務会計論 税と生活 監査論 経営分析論 管理会計論 会計情報システム論	会計学特論  国際会計論
	国際		国際貿易論 グローバル経済事情	国際物流論 ビジネスコミュニケーション	国際マーケティング論
	外書講読			海外交流ゼミナール 外書講読ⅠA・ⅠB 外書講読ⅡA・ⅡB、外書講読上級A・上級B	
講義形式 主に他学部の 教員による	関連教育科目	民法A、民法B、商法、経済法、労働法、マクロ経済学、ミクロ経済学、財政学			
	キャリア研修		キャリア研修X、キャリア研修Y、キャリア研修Z		
	共通教育科目	人文科学、自然科学 社会科学、総合系列 学修基盤			
	外国語	外国語			
保健体育	保健体育				

(注) △は選択必修科目1群

(注) ▲は選択必修科目2群

(注) 共通教育科目については、共通教育科目部分のみを対象とした別のカリキュラムツリーで詳細を示す

共通教育科目のDP、CP、カリキュラム・マップ・カリキュラムツリーについては、FUポータルに掲載しています。

**【掲載場所】**

FUポータル▶授業関連▶履修系統図（カリキュラムツリーおよびカリキュラム・マップ）

▶履修系統図（令和6年度入学生）▶共通教育